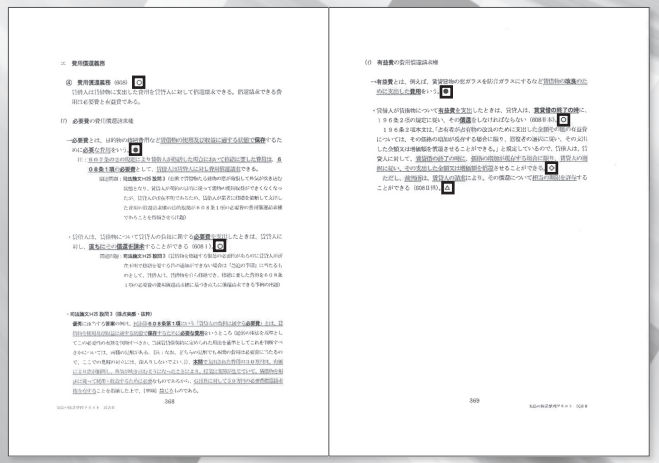
合格に必要な情報を一元化［矢島の 体系整理テキスト2024］

特徴① 効率よく学習が出来る！

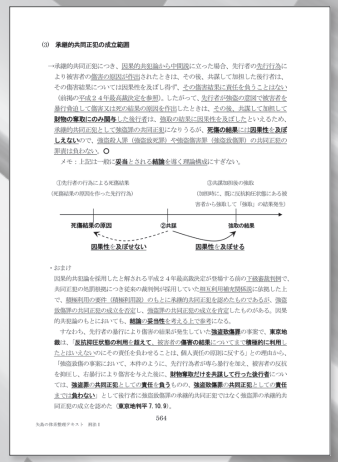


［重要度をランク付け］

論文試験で書くために理解した上で記憶すべき事項を重要な順に●、◆、▲、内容を理解すべき事項を○、◇、△の順で優先度を示しており、効率よく復習することが出来ます。

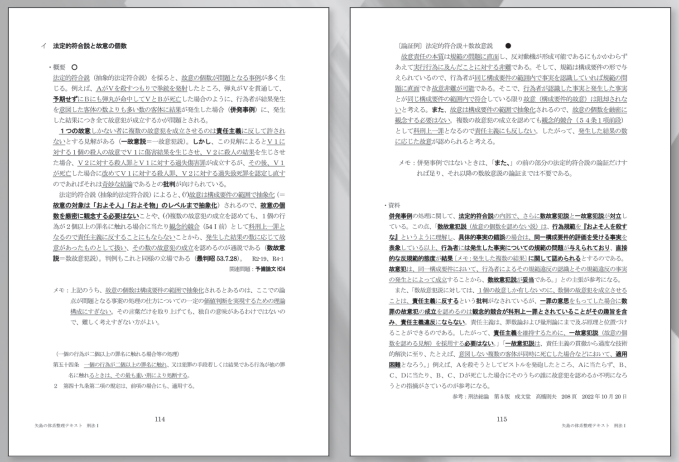
［ポイントを把握できる図］

一般的に受験生が理解するのに苦労しやすい部分は、図などを利用して、一目で理解できる工夫を凝らしています。

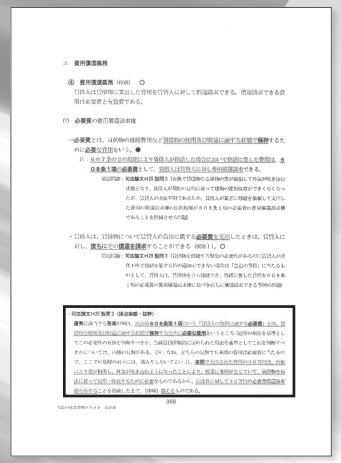


［短答出題情報］

短答問題も掲載しているため、該当部分の短答問題をすぐ復習することができます。



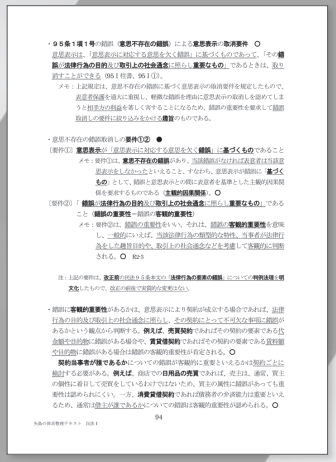
特徴② 作り込まれたテキスト！



［論文の出題情報］

論文試験の出題情報を論点ごとに明記しています。そのため、試験考査委員が論文試験の出題について関心を持っている事項をおさえることができます。また、必要に応じて、出題趣旨や採点実感を抜粋したり、問題の簡易解説を掲載したりして、適度に刺激を受けながら学習を続けられるように工夫しています。

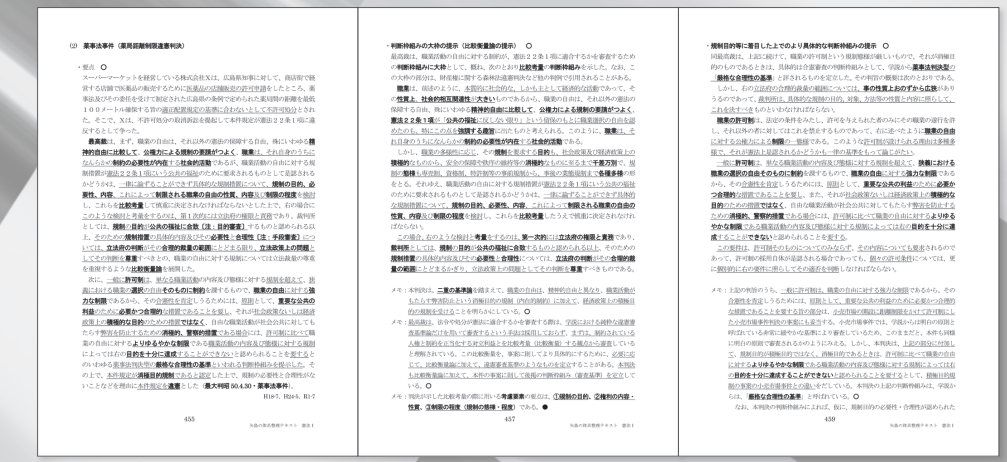
教材サンプルはこちら▶



［暗記対策］

要件と効果について理解と記憶がしやすいように、理解するところ・記憶するところを整理して記載しています。覚えるのが苦手だという受験生も、講義を聴いてからこのテキストを復習することで、合格に必要な知識を効率よく記憶することができます。

テキストは持ち運びが便利なA5サイズ

［重要判例のマスター］

合格に必要な重要判例は、試験対策上の必要に応じて法廷意見のみならず、補足意見や反対意見のポイントも掲載。事案はもちろん、規範や当てはめの重要部分が一目で分かるように文字に装飾を加えてビジュアル化したり、ポイントを分かりやすくまとめたりしているため、応用ができる形で判例の構造や射程を深く理解できます。なお、判例を引用する長さは重要度に応じてメリハリをつけているので、重要ではない判例を長々と読むことで必要以上に時間を浪費する心配はありません。